MITSUBISHI

三菱〈強制給排気式ガスストーブ〉クリーンヒーター

型式名

VGT-296HT・VGT-296HT-T
VGT-426HT$_2$・VGT-426HT$_2$-T
設置工事説明書

販売店・工事店さま用

●据付工事をされる前にこの設置工事説明書を必ずお読みになり、正しく据付けてください。
●ここに示した注意事項は「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づいた安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
●据付工事終了後、「据付工事後の点検・確認」のチェックリストに基づいて必ず再確認を行ってください。

表示と図記号の意味は次のとおりになっています。

⚠警告	作業を誤った場合に、据付工事作業者または使用者が死亡や重傷・火災などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	作業を誤った場合に、据付工事作業者または使用者が傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
[お願い]	正しく据付けていただくための情報です

禁止	
注意を表わす	
指示に従い必ず行う	

もくじ

		ページ
安全のために必ずお守りください……	火災、事故防止等安全について	2～5
安全のためのお願い……		6
開梱……	付属部品及び使用箇所の確認	7
壁穴工事……	壁穴工事と標準据付例	8
製品の据付け……	標準給排気工事と延長給排気工事	9～17
電気・ガスの接続工事……	電気接続・ガス接続	18
据付工事後の点検・確認……		19
試運転……		裏表紙

0507873HK2101

安全のために必ずお守りください

据付工事をされる方へ

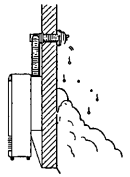
⚠警告

据付工事は、お買上げの販売店または工事店が実施してください。
●お客さま自身で据付工事をしないでください。
（ご自身で据付工事をされ、不備があると燃焼排ガス漏れ、感電、火災の原因になります
工事に起因する不備があった場合は保証の対象外となります）

法律に基づいた正しい据付工事を行うために、設置工事説明書を良くお読みになり、指定された工事を行ってください。
●設置工事説明書は法律の内容をわかりやすく解説した「ガス機器の設置基準及び実務指針」に基づいて作成されています。
●据付工事部品は必ず付属部品、システム部材を使用してください。

給排気について
●買い換えの場合も新しい給排気部品を使用して据付工事を行ってください。
（排気筒はずれ検知装置が誤作動したり、燃焼排ガスが漏れたりする原因になります）

●積雪の多い地方では、給排気筒トップが雪で埋もれない位置に取付けてください。
（爆発点火することがあります）



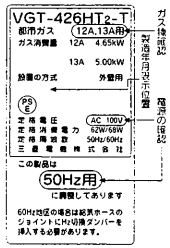
据付けする製品の確認

暖房能力が部屋の広さに適しているか、取扱説明書に記載の「暖房のめやす」により確認してください。

⚠警告

使用ガス・電源について
銘板表示以外のガス種・電源を使用しない

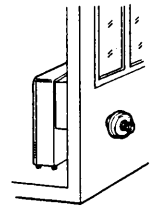
例



（ガス種や電源が間違っていると不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発点火することがあります）

⚠注意

この製品は屋内用です
屋外へ据付けることはできません



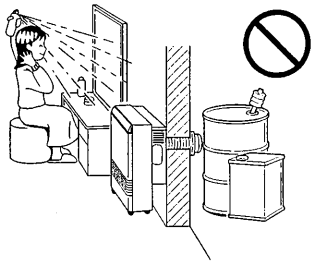
据付場所の確認

据付場所を決めるときはお客さまと良く相談してください。

火災予防

⚠警告

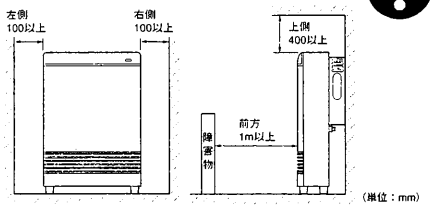
危険物があるところに据付けない
危険物(ガソリン・シンナー・灯油など引火しやすいもの)の近くには据付けない



(引火による火災の原因になります)

製品の周囲の可燃物・障害物との離隔寸法は下記の内容を考慮した寸法を確保してください。

- ●火災予防と裏面の点検のために「ガス機器の設置基準及び実務指針」に定められた空間寸法。
- ●据付工事、エアーフィルターの清掃、アフターサービスに必要な空間寸法。
- ●壁のビニルクロスの変色防止、温風の短絡防止に必要な空間寸法。



	理　由
上側	据付工事、エアーフィルターの清掃、アフターサービス
左側	ビニルクロスの変色防止
右側	アフターサービス
前方	温風の短絡防止

- ●上側はエアーフィルター清掃時に取りはずし可能な棚などの場合は、防火上45㎜まで近接が可能です。
- ●左側は変色等の心配のない壁面等であれば、防火上45㎜まで近接が可能です。
- ●製品の裏面には必ず背面カバーを取付けてください。
- ●背面カバーと壁との間にはすき間をあけないでください。
  (カーテンや紙などが入りますと、こげたり、においなどの原因となります)
- ●ガス栓の開閉、電源プラグの抜き差しが容易にできるようにしてください。

※離隔距離等の基準は各地方自治体により異なる場合があります。より厳しい自治体の基準がある場合はそれに従ってください。

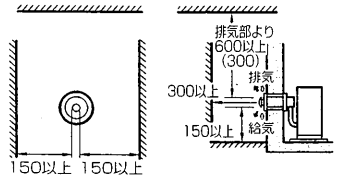
安全のために必ずお守りください

火災予防　つづき

⚠注意

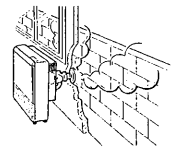
給排気筒トップは、十分開放された空間で、燃焼排ガスの滞留しない空間に取付けてください。

下図の寸法は防火上の必要寸法です



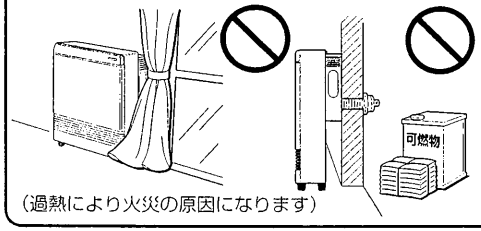
(　)内は不燃材の場合の寸法

給排気筒トップの周辺には、建築物の突出物等の障害物のないことを基本とし、燃焼排ガスが障害物にあたって給気側に流入しない位置に取付けてください。



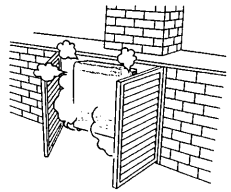
(燃焼排ガスが給気側へ流入すると運転停止[E-01、E-13]することがあります)

カーテンなど可燃物と製品との離隔距離が確保できないところには据付けない



(過熱により火災の原因になります)

温風吹出口前方にギャラリ(格子)を取付けない

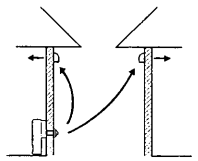


(室温調節が正しく行われないうえ過熱により火災の原因になります)

給排気について

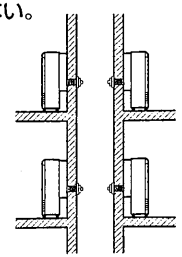
⚠注意

燃焼排ガスが室内(隣家も含め)に入りやすいところには据付けない



(室内空気が汚染されます)

高層建築の集合煙突を利用しての給排気工事は絶対行わない。

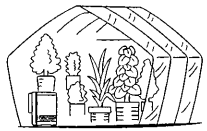


(運転停止したり、不完全燃焼の原因になります)

据付場所の周囲について

⚠注意

他の目的に使用しない
食品・動植物・精密機器・美術品などの保存等
特殊な用途には使用しない

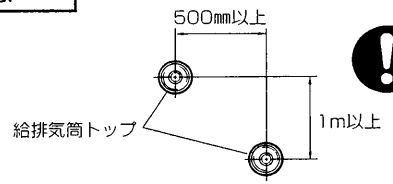


（美術品などの品質が低下する原因になります）

据付場所の雰囲気について

⚠注意

2台以上据付ける場合は各々の給排気壁穴の間隔は、水平方向に500mm以上、垂直方向に1m以上離すこと

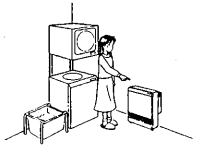


（燃焼排ガスの給気口への吸い込みによる運転停止や不完全燃焼の原因になります）

燃焼排ガスに注意
愛がん動物や植木などに燃焼排ガスをあてない

（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）

浴室など湿気の多いところに据付けない



（感電の原因になります）

据付場所の強度について

⚠警告

設置は質量に十分耐える所に確実に行うこと。

⚠注意

運転音や振動が他に伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所に設置すること。

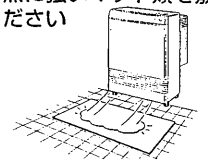
安全のためのお願い

据付け前のお願い

●直射日光の当たる場所に据付けない
●左側面に壁がある場合は「左壁設置時のお願い」チラシに基づいて、ルームサーモの位置を移動してください

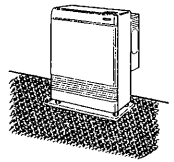
（室温調節が正しく行われないことがあります）

熱に弱い床面は保護する
熱に強いマット類を敷いてください



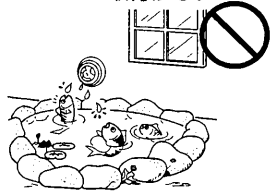
（吹出口前方の床面は40～50℃程度になります。床面によっては変色したり、変形・収縮することがあります）

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、安定のよい敷き板などを敷いて水平にする



（製品が不安定になったり、じゅうたんが変色することがあります）

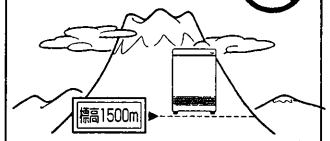
給排気筒トップの先端（排気口）からドレン（水滴）が池に落下したり腐食させる恐れがあるところには取付けない



特殊環境（温泉害、塩害、大気汚染、化学薬品を使用する場所）には据付けない

（腐食・劣化の原因になります）

標高1500m以上の高地では据付けない



（空気不足により運転停止をしたり不完全燃焼の原因になります）

小さなお子さまが触れるようなところに取付けられる場合は、トップガード、グリルガード（システム部材）をおすすめください

（やけどの原因になります）

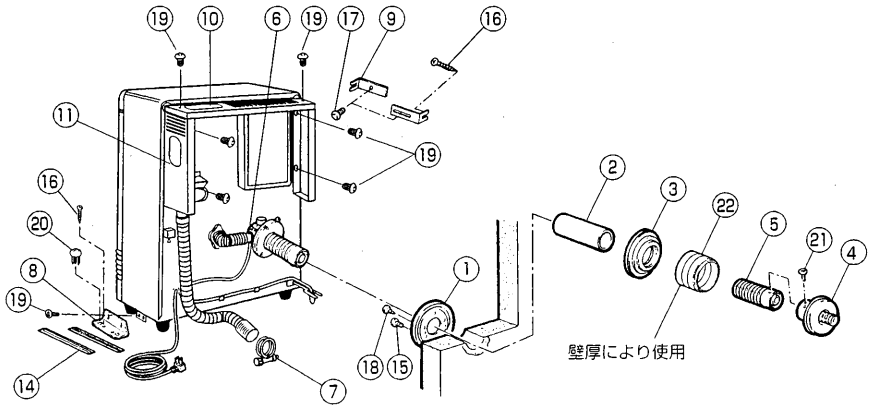
システム部材の詳細は「商品マニュアル」をご覧ください。

開梱

付属部品の確認

① 室内傾斜フランジ ……1個	② 絶縁パイプ ……1個	③ 室外傾斜フランジ ……1個		
④ トップフード ……1個	⑤ 中間パイプ ……1個 （本体に付属）	⑥ C形ストッパー ……1個		
⑦ 給気ホースバンド ……1個	⑧ 床固定金具 ……2個	⑨ 壁固定金具 ……2セット		
⑩ 背面カバー（上面）……1個	⑪ 背面カバー（側面）……2個	⑫ 取扱説明書 ……1冊		
⑬ 設置工事説明書 ……1冊	⑭ コードバンド ……2本	⑮ 室内傾斜フランジ取付ネジ ……3本	⑯ 壁・床固定ネジ …… 6本 （木・コンクリート兼用）	⑰ 壁固定金具取付ネジ…… 2本 （黒 4×8）
⑲ 給排気筒トップ取付ネジ… 3本 （皿ネジ） ⑲ 背面カバー取付ネジ…… 10本 （黒タッピン 4×8） （背面カバー 6本 床固定 4本）	⑳ 畳用取付びょう …… 4本	㉑ トップフード取付ネジ…… 1個 （中間パイプに付属）	㉒ 壁厚対応スペーサー ……3個 （壁厚が134~81mmのとき使用します）	

付属部品の使用箇所



※⑱は延長給排気工事の場合に使用します。

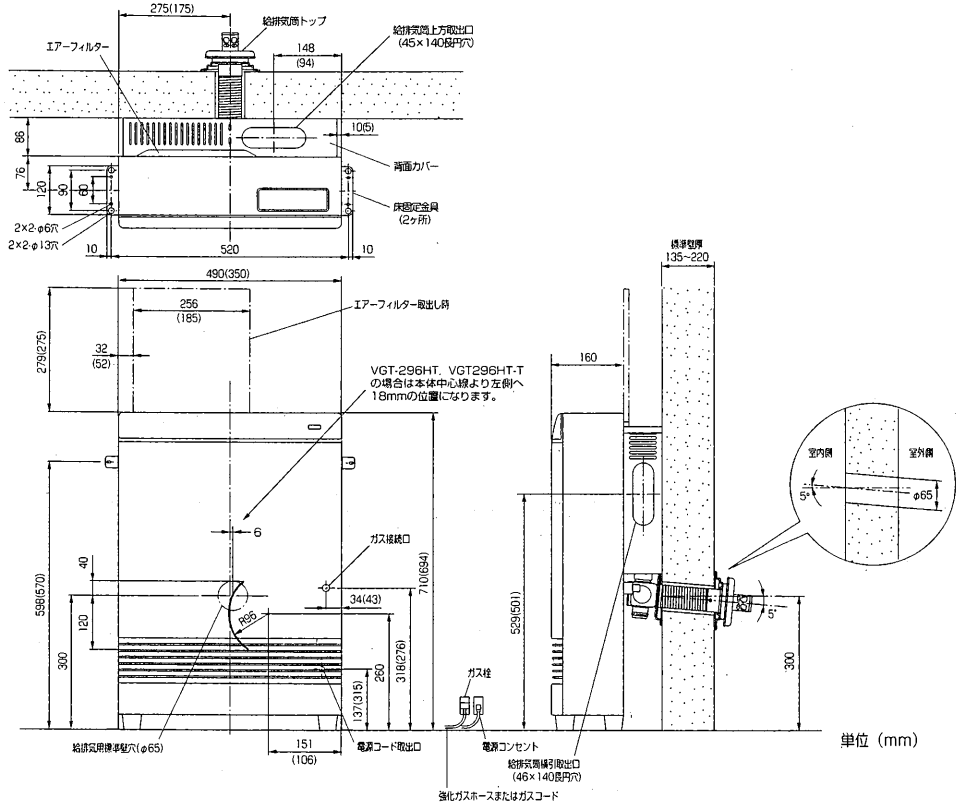
壁穴工事

標準据付例

壁穴位置はなるべく標準給排気のできるところを選びますと、見ばえもよく工事も簡単です。

●VGT-426HT$_2$,426HT$_2$-Tの場合

（注）
（　　）内寸法は
VGT-296HT、VGT-296HT-T
を示す



[お願い]

- 壁厚を確認する。
- 付属の給排気筒トップの適用壁厚は135~220mmです。
- 135mm以下及び220mm以上の壁厚に取付けるには、システム部材を準備してください。

製品の据付け

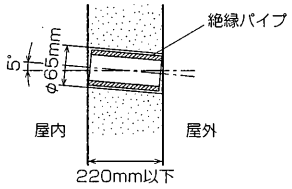
壁穴あけ(標準工事)

1

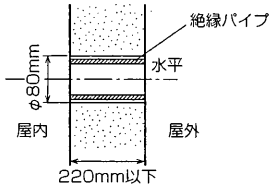
壁穴位置決め
次の要領で壁穴位置を決定します。
(標準据付例参照)
①製品のセンター出し
②給排気用壁穴のセンター出し

2

φ65mmの穴をあける場合



φ80mmの穴をあける場合



壁穴あけ
給排気用壁穴
●φ65mmの穴をあける場合は、屋外に向かって下向きに約5°の勾配で穴をあけます。またφ80mmの穴をあける場合は、屋外に向かって水平に穴をあけます。

雨水の浸入を防止するために、給排気筒トップは屋外に向かって5°の下り勾配となるようにつくられています。

絶縁パイプの取付け
●絶縁パイプを壁の厚さに合わせて切断し、壁穴に取付けます。

付属部品で取付可能な壁厚は220mmまでです。

●壁厚に応じたシステム部材の選定

壁　厚	システム部材	備　考
66 ~135mm	VGZ-21SP (スペーサーリング)	壁密着取付けができません
90 ~135mm	VGZ-09ST (薄壁対応給排気筒トップ)	壁密着取付けができます
135 ~220mm	不　要	
220 ~730mm	厚壁用部材参照	

[お願い]

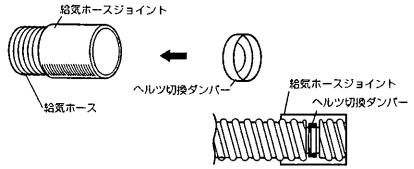
●穴をあける際、壁内のスジカイ・電気配線・ガス・水道の配管などに当たらないところを選んでください。
●絶縁パイプは、壁内のメタルラスや鉄筋と給排気筒トップが金属的接触しないよう絶縁を保つために取付けます。[電気設備技術基準(第203条)参照]
●電源コンセントやガス栓が製品の裏面にかくれないようにしてください。

製品の据付け

60Hz地区で据付けする場合　ヘルツ切換ダンパーの取付け

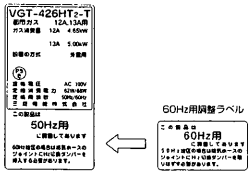
製品は工場出荷時には50Hz仕様に調整されています。電源周波数が60Hzの地区で据付けする場合は、ヘルツ切換ダンパーの取付けを必ず行ってください。

1



製品の裏面に取付けられている、ヘルツ切換ダンパーを給気ホースジョイントの内部に取付ける。

2



60Hz用調整ラベルを製品の右側の銘板に重ねて貼付ける。

[お願い]

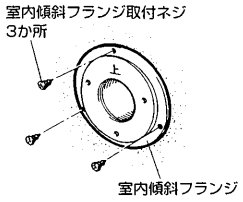
●60Hz地区の場合
ヘルツ切換ダンパーを必ず取付けてください。
取付けないと燃焼用空気が多くなり点火しないことがあります。
運転中に燃焼停止するなど故障の原因となります。

※50Hz地区の場合
転居の際に必要となりますので保管しておくようお客さまに説明してください。

標準給排気工事

電気工事、ガス接続工事は、工事の途中やりやすいときに行ってください。

1

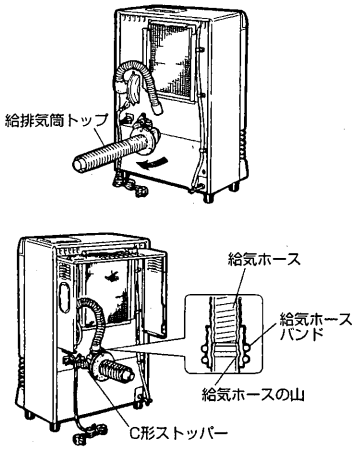


室内傾斜フランジを取付ける。

●壁穴の室内側に室内側傾斜フランジを室内傾斜フランジ取付ネジ(4×20 3本)で固定します。
室内側傾斜フランジの「上」の文字が上になるように取付けます。

(雨水浸入防止、ドレンを屋外へ排出するために屋外に向って5°の下向き傾斜が付きます。)

2



給排気筒トップに給気ホースを取付ける。

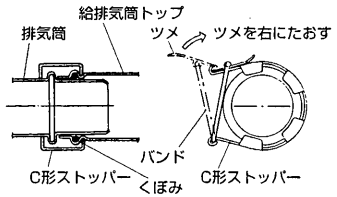
(1)給排気筒トップを図のように後方に向けます。

(2)給気ホースに給気ホースバンドを通し、給排気筒トップの給気口に差し込み、その接続部を給気口の山をまたぐようにして給気ホースバンドでしっかり締付けます。

[お願い]

●給排気筒トップには給気口が2か所あります。取付けやすい給気口に給気ホースを接触してください。使用しない給気口には給気口キャップを必ず取付けてください。
●給気ホースが確実に給気ホースバンドで締付け固定されていることを必ず確認してください。
●給排気筒トップの排気口と給気口を間違えないように接続されていることを確認してください。
(印がしてあります。)

3



排気筒と給排気筒トップの排気接続口をC形ストッパーで抜け止めする。

●C形ストッパーは接続部に差し込んで、バンドをかけます。

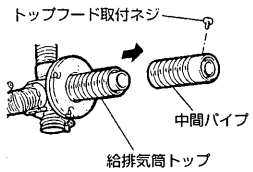
[お願い]

●給排気筒トップの排気口と給気口を間違えないように接続されていることを確認してください。
●取付け後、ストッパーがきいているか、給排気筒トップを引っ張って確認してください。

製品の据付け

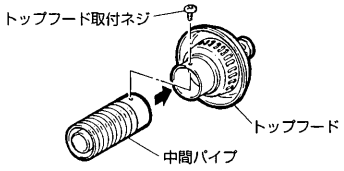
標準給排気工事 つづき

4

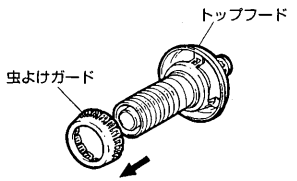


中間パイプをトップフードに付け換えます。

(1)給排気筒トップにねじ込まれている中間パイプをはずします。
(2)中間パイプに取付けられたトップフード取付ネジを一度はずします。



(3)中間パイプをトップフードにしっかりはめ込み、ネジ穴を合わせてトップフード取付ネジで固定します。



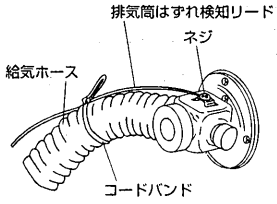
寒冷地で使用する場合

外気温が−15℃以下になるような地域では

虫よけカードをトップフードからはずして据付けます。

●はずさないとガード部に霜が付着して、給気口がふさがれ、安全装置が作動して運転を停止することがあります。
●寒冷地では、虫の侵入の可能性は少なく、虫ガードをはずしても大丈夫です。

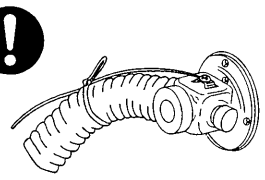
5



排気筒はずれ検知リードを取付ける。

●給排気筒トップに取付けてある排気筒はずれ検知リードを給気ホースにそわせてコードバンドで固定します。

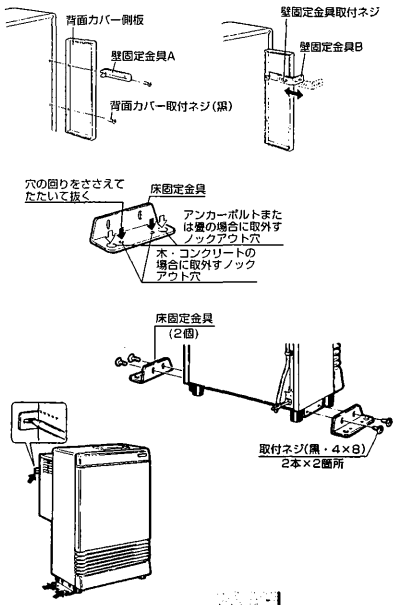
[お願い]



●排気筒はずれ検知リードは、アース線ではありません。
給排気筒トップに接続されていることを確認してください(接続されていないと運転ができません)。
●給排気筒トップの金属部分が製品の金属部分と接触しないように注意してください。
接触すると、その部分で電気的導通をし、排気筒はずれ検知装置が作動しなくなります。

標準給排気工事　つづき

6



背面カバー側板・壁固定金具・床固定金具を取付ける。

(1)背面カバー側板と壁固定金具A（製品側）を取付ネジ(黒・4×8)4本で取付けます。

壁固定金具Aは上部取付け穴に元締めします。

(2)製品と壁との距離に合わせて、壁固定金具Bを壁固定金具Aに取付ネジ(4×6)2本で取付けます。

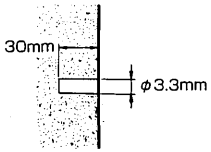
(3)床の種類により床固定金具のノックアウト穴を打ち抜いてください。

(4)床固定金具を製品左右に取付ネジ(黒・4×8)4本で取付けます。

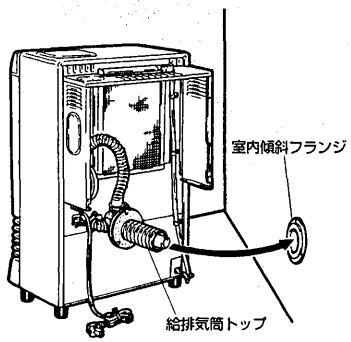
(5)設置する壁面に向かって器具をずらし、壁固定金具(壁側)および床固定金具のネジ止め位置を決め、印を付けてください。

取付面がコンクリートの場合

左図のように印の位置に下穴(φ3.3mm、深さ30mm)をあける。



7



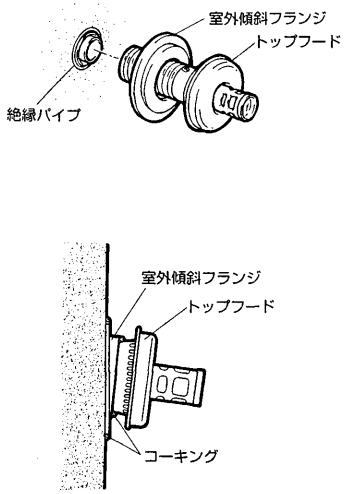
給排気筒トップを壁穴に差込む。

●給排気筒トップのフランジ部が室内傾斜フランジに接するまで確実に差し込んでください。

製品の据付け

標準設置工事　つづき

8



室外側から室外傾斜フランジ、トップフードを取付けます。

(1)室外傾斜フランジを通します。

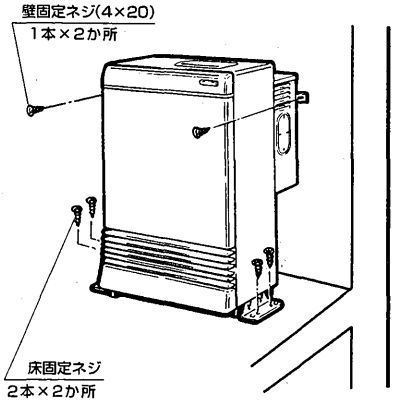
(2)室外傾斜フランジを「下」印が下になるように注意して壁に密着させたまま、中間パイプを組付けたトップフードを時計方向に回し、室外傾斜フランジに密着させます。

※室外傾斜フランジの外周およびトップフードの外周にパテまたはコーキング材を塗布し、壁の中へ雨水が浸入するのを防いでください。

※室外傾斜フランジの壁へのネジ固定が必要な場合は、裏面の凹部(3ケ所)を市販のタッピングネジで簡単に破って貫通させることができます。

30m以上の高所に取付ける場合は、万が一の落下による危険防止のため、トップフードを接着剤等で確実に壁に固定してください。

9



壁固定金具と床固定金具を固定する。

壁固定金具と床固定金具を固定ネジで固定する。

壁が石膏ボード・薄い合板・土壁・しっくい壁などの場合

●壁にそえ木をして、壁固定金具を固定ネジ2本でそえ木に固定する。

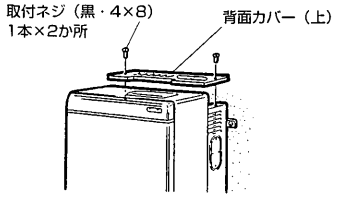
取付面がコンクリートの場合

●あらかじめあけてある下穴に壁固定金具・床固定金具をそれぞれ固定ネジで固定する。

床が畳の場合

●大きい穴を利用して畳用取付びょうで固定する。

標準設置工事　つづき



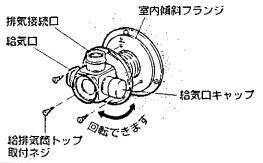
電源コード・給気ホースが排気筒に触れていないか確認のうえ、背面カバー(上)を取付ネジ(黒・4×8)2本で取付ける。

製品の据付け

延長給排気工事

標準給排気工事ができない場合に延長給排気工事を行いますが据付場所に応じてシステム部材の給排気セットが必要です。

延長工事詳細についてはシステム部材に同梱の「取付説明書」をお読みください。



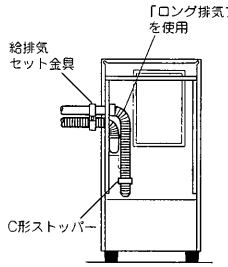
給排気筒トップの固定

●壁穴に取付けた室内傾斜フランジに、給排気筒トップを給排気筒トップ取付ネジ(皿ネジ)3本で取付けます。

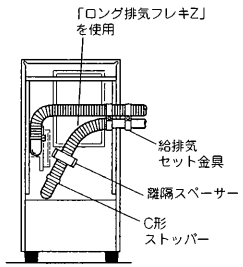
右側・左側・上側への延長給排気工事要領　〈システム部材を使用〉

VGT-296HT、VGT-296HT-Tの場合

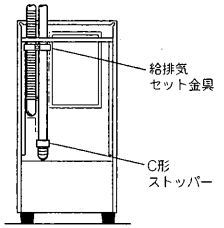
〈右排気〉



〈左排気〉

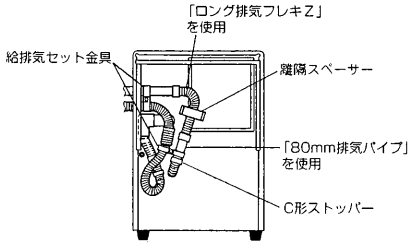


〈上排気〉

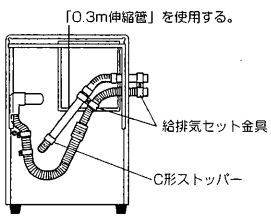


VGT-426HT$_2$、VGT-426HT$_2$-Tの場合

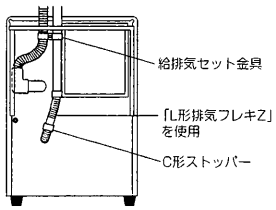
〈右排気〉



〈左排気〉



〈上排気〉



⚠注意

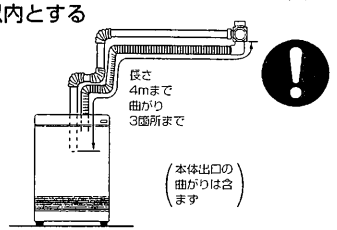
電源コード・給気ホース・ガス配管が排気筒に触れていないか、また壁に排気筒が接触していないか確認してください。

[お願い]

●右側・左側および上側へ延長給排気工事を行う場合は、給排気セット金具を使用して給気ホースと排気筒を20㎜以上離してください。
●排気筒・給気ホースをルームサーモに近づけないようにしてください。(室温調節が正しく動作しないことがあります。)
●風量スイッチは取付方向を変えることはできません。(このままの取付姿勢でないと作動しません。)

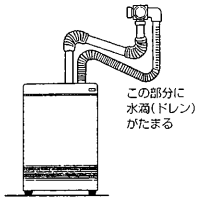
⚠注意

給排気の延長可能な長さは４m以内で、曲がり３箇所以内とする



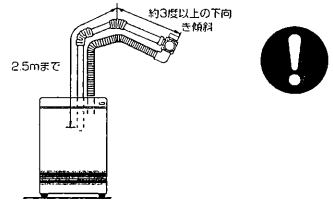
（これ以上長く延ばしたり曲がりが多くなりますと燃焼空気が不足し、運転停止や、不完全燃焼の原因となります）

排気筒の途中に水滴(ドレン)がたまるようなへこみ部をつくらない



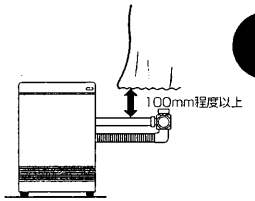
（燃焼排ガス中のドレンが排気筒内にたまり、運転停止や、不完全燃焼の原因になります）

排気筒のドレンもどり長さは2.5m以内とする



（燃焼によって発生する水滴(ドレン)のもどりは、排気筒長さが2.5m以上になると、製品内部のドレン受け皿からあふれる場合がありますので、それ以上の部分は屋外へ排出します。そのために2.5m以上の排気筒には約３度以上の下向き傾斜をつけてください）

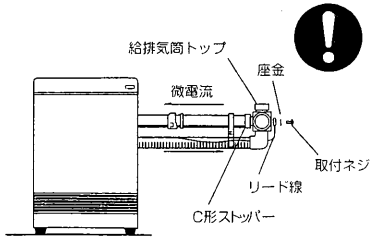
カーテンなど可燃物を排気筒に接触させない



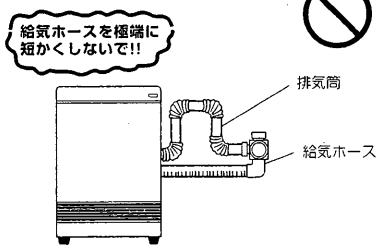
（火災の原因になります
排気筒の近くにカーテンなどの燃えやすいものがある場合は、100㎜程度以上離すか、配管カバー(システム部材)を使用してください）

[お願い]

この製品は**排気筒はずれ検知装置がついています。(排気筒に微電流を流して、排気筒の接続を確認しています)** C形ストッパーは排気筒の抜け止めと同時に、接続部の電気的導通を確保する役目も合わせもっていますので、必ず取付けてください。



排気筒の長さより給気ホースの長さを極端に短くしない



（異常音が発生することがあります
給気ホースの長さを排気筒の長さと同等か長めにしてください）

電気・ガスの接続工事

電気接続工事

●電源プラグは電源コンセントにしっかり差し込んでください。
●電源コードは排気筒などの高温部に触れないよう注意してください。

ガス接続工事

ガス栓の新設

●製品を使用する部屋に、部屋のガス栓がない場合、または、あっても位置や寸法などが適切でない場合には、新設・移設、または、交換などが必要ですのでガス事業者にご相談してください。
●ガス栓や電源コンセントは製品の裏面にかくれない位置に設けてください。
●下記のガス種ではヒューズコックの特性によりコンセント型ガス栓が使用できません。
可とう管コック(ヒューズコックを内蔵していません)を使用してください。

VGT-426HT$_2$	L3(4A・4B・4C)

ガス接続

●12A・13Aの接続はガスコードを使用してください。(器具用スリムプラグをはずせば強化ガスホースの接続も可能です)
●12A・13A以外は強化ガスホースを使用してください。

強化ガスホースの接続

●都市ガスの場合はガス事業者に依頼するか、**ガス可とう管接続工事監督者**のもとで行い、表示ラベルを貼付けてください。
●LPガスの場合は**液化石油ガス設備士**が行ってください。

[お願い]

●強化ガスホースに無理な力が加わらないよう、またふんだり引っ掛けたりしないよう十分注意して製品とガス栓の位置を決めてください。
●接続具・アダプターは同梱していませんので別途にお買い求めください。
●強化ガスホースは隠ぺい部では使用できません。

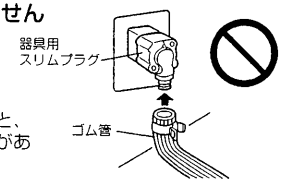
金属管の接続

●金属管による工事はガス事業者に依頼し、製品を床または壁面に固定することが必要です。
●接続完了後はガス漏れがないことを確認してください。

⚠警告

(12A・13Aの場合)

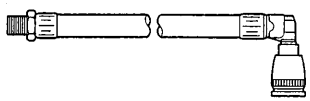
ガス事故防止
ガス接続具は「ガスコード」を使用する。ゴム管は使用できません



（ゴム管を使用すると、ガス漏れのおそれがあります）

(12A・13A以外の場合)

ガス事故防止
ガス接続は「強化ガスホース」を使用する。



据付工事後の点検・確認

据付工事が終りましたら、下表に従ってもう一度点検・確認をしてください。
不具合がありますと火災・燃焼排ガスの漏れ及び不完全燃焼の原因となりますので必ず取付けなおしてください。

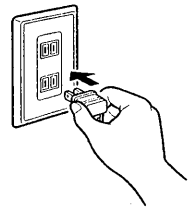
点検		点検内容	チェック結果
製品およびその周辺	ガス種	銘板は使用ガス種に適合していますか。	
	電源(電圧・周波数)	銘板は使用電源(電圧・周波数)に適合していますか。	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災防止の措置は十分ですか。	
	保守・管理上の空間	操作・点検・修理に必要な空間はありますか。	
	安全据付	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。	
		製品の壁・床への固定はされていますか。	
給排気部品	給気ホース接続部	給気ホースは確実に接続され、給気ホースバンドで固定してありますか。	
	排気筒接続部	排気筒は確実に接続され、C形ストッパーで固定してありますか。	
	排気筒及び給排気筒トップ	給排気筒トップの「上」印が上になっていますか。	
		給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
		排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
		燃焼排ガスは屋外へ排気されていますか。	
		給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
		給排気筒トップの周囲に危険物(灯油、ガソリン、シンナー等)はありませんか。	
		給排気筒トップの給気口から燃焼空気が吸い込まれていますか。異物でふさがっていませんか。	
		給排気筒トップの排気口より燃焼排ガスが出ていますか。	
		集合煙突に給排気筒トップを取付けた工事はされていませんか。	
	給排気筒延長	床下への直接排気や、天井裏への給排気工事はしてありませんか。	
		排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
		給気ホース・排気筒の長さは4m以内で曲がり数が3か所以内ですか。	
		排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部分はありませんか。	
		排気筒のドレンもどり長さは2.5m以下になっていますか。	
電気配線		電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
		電源コードは高温部に触れていませんか。	
		電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
ガス接続		ガス接続は正しく接続されていますか。長さは適切ですか。	
排気筒はずれ検知リード		排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。 12ページ	
		排気筒はずれ検知リードは、排気筒に接触していませんか。	
60Hz地区の場合		60Hz用ヘルツ切換ダンパーは取付けましたか。 10ページ	

試運転

お客さま立合いで試運転を行ってください。

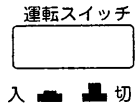
運転準備

1. 電源プラグを専用コンセント(単相　100V)に確実に差し込みます。
2. お部屋のガス栓を全開にします。



運　転

1. 運転スイッチを押して「入」にします。
   運転ランプが点灯し、燃焼を開始して、温風が出ます。その状態で約15分間運転して異常表示等が出ないか確認してください。
   異常表示がでたときは、取扱説明書の『故障・異常の見分けかたと処置方法』を参照願います。



2. 再度運転スイッチを押して「切」にします。
   運転ランプが消灯し、運転が停止します。

試運転のお願い

●設定温度より室内温度が高い場合に試運転するときは、「上がる」ボタンを5秒以上押し続け、設定温度表示を「H」にすると、最大燃焼量で10分間連続運転を行います。
●連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、「下がる」ボタンを押して解除することもできます。

試運転終了後の処置

●試運転が終りましたら、長期間使用しないときは、お部屋のガス栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お客さまへの説明

1. 取扱説明書によって製品の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、保存のお願いをしてください。
3. この設置工事説明書は引っ越しなどで製品を移動する際には必要となりますので、取扱説明書と共に必ずお客さまに渡して、一緒に保管してくださるようお願いしてください。

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号